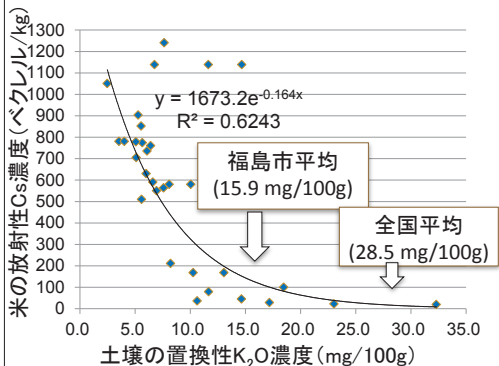
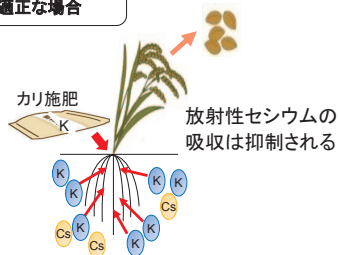


- ・ 玄米中の放射性セシウム濃度が高い値がみられた水田では、土壌中のカリウム濃度が低い傾向が見られた。
- ・ 土壌中のカリウムは、セシウムと化学的に似た性質を有しており、作物のセシウム吸収を抑える働きがある。



カリ施肥による稲の吸収抑制対策

土壌中のカリ濃度が適正な場合



農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

農林水産省

放射性セシウム濃度の高い玄米が発生する要因を調べたところ、土壌中の放射性セシウム濃度が高いからといって、必ずしも玄米中の放射性セシウム濃度が高くなるわけではない。一方で、玄米中の放射性セシウム濃度が高くなる土壌は、土壌中の主な栄養素の一つのカリウムの濃度が通常より低いことがわかりました。

カリウムとセシウムは化学的な性質が似ているため、土壌中にカリウムがじゅうぶんあるとセシウムは吸収されにくく、カリウムが少ないとセシウムは吸収されやすくなるのではないかと考えられています。

これらのことから、土壌中のカリウム濃度の低いほ場においてはカリ肥料を適切に施用することで、玄米中の放射性セシウム濃度を下げられることがわかりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

関連 Q&A

・ 4章 QA3 農林水産物の安全性を確保するためにどのような取組がとられているのですか